

新たな地域コミュニティ支援事業にかかる受託者等の評価結果について（令和3年度）

1 支援の内容及び効果等

【評価項目】 支援の内容及び効果等

- ・「地域課題への取組」にかかる支援の状況（実績）及び効果等
- ・「つながりの拡充」にかかる支援の状況（実績）及び効果等
- ・「組織運営」にかかる支援の状況（実績）及び効果等

評価	左記の理由
A	・コロナ禍に対応しながら、区内 10 地域の「地域レポート」の更新にかかる支援、企業・大学等との連携の支援を行うなど、地域の課題やニーズに即した内容で、各項目にかかる支援を実施した。

2 業務実施体制等

【評価項目】 事業の実施体制等

- ・スーパーバイザー、アドバイザー及び地域まちづくり支援員の体制にかかる支援状況（実績）及び効果等
- ・フォロー（バックアップ）体制等にかかる支援状況（実績）及び効果等
- ・区のマネジメントに対応した取組にかかる支援状況（実績）及び効果等

評価	左記の理由
B	・区とまちづくりセンターが常に連絡、相談できる体制が構築されており、区のマネジメントに基づいた相互連携による効果的な支援を行った。

3 区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）の状況及び効果等

【評価項目】

- ・区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）にかかる支援の状況及び効果等

評価	左記の理由
B	・総括AD、防災AD、広報ADのノウハウを活用し、コロナ禍で影響を受けた各地域に対して、補助金の活用にかかる支援、地域防災機能の強化、地域情報発信力の向上など、区の方針を踏まえた効果的な支援を行った。

4 取組効果の評価（アウトカムに対する評価）

【評価項目】

- ・アンケート調査
- ・その他の効果のあった内容

評価	左記の理由
A	・各地域が抱える課題の把握とその状況に即した支援に努めた結果、すべてのアンケート評価項目において前年を大きく上回り、かつ目標に到達した。

5 総合評価【全体】

評価	左記の理由
B	・各地域がコロナ禍に対応した活動を再開し、地域のつながりづくりを継続できるようノウハウを活用した支援を実施した。 ・今後も地域レポートの活用や広報情報発信力の向上、会計支援等について、中間支援組織によるサポートが必要である。

（評価基準）

- S：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を大幅に上回っている。
- A：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を上回っている。
- B：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準に概ね達している。
- C：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を下回っている。